

『考える力を育てることばの教育』

－ 3つの「ことばの学び」を大切にした授業づくり－

本年度は、附属学園の一貫教育のテーマ「考える力を育てることばの教育」に受けて、副題を「3つの「ことばの学び」を大切にした授業づくり」と設定し、考えたことをことばで表現し、ことばの学びによって考えを深める子どもをめざして研究に取り組んでいます。

①他者とつながることばを使って思考を深める各教科等の授業づくり

本校では「ことばの学び」を「対象をとらえることば」、「他者とつながることば」、「自己を見つめることば」の3つ姿でとらえています。本年度は、特に「対象をとらえることば」と「他者とつながることば」の育成に力点を置いて、子どもが感じ考えたことをお互いに伝え合い、共に学びを深めていく姿の実現をめざしています。このために、各教科等で指導方法や学習環境の開発に取り組んでいます。

②幼稚園と中学校との連携を考慮した12年間の一貫教育について

本校では、小学校入門期にあたる1年生のために、平成14年度から「かけはし学習」を行っています。この「かけはし学習」は、くらしや環境の中から子どもが「学びたい」と感じるものを見つけ出して学びを立ち上げていく「フィールド学習」と、子どもの意識を大切にしながら各教科等の学習内容に焦点化した学習活動を展開していく「ステージ学習」で構成されています。創設から11年目にあたる本年度も、附属幼稚園の教員と幼児教育との連携の在り方を話し合いながら、内容や指導法を深化発展させています。

中学校教育との連携については、小中接続期を中心に、「ことばの学び」について発達課題を明らかにし、授業における具体的な指導内容や指導法を研究しています。このために、附属中学校の教員とお互いの子ども観や授業観について定期的に話し合いを行い、連続性を大切にしたカリキュラム開発や学習指導を支援するシステム作りをめざしています。